

令和5年
8月号
通巻第42号

塩釜シルバーだより

発行
公益社団法人塩釜市
シルバー人材センター
理事長 引地 榮五
塩釜市尾島町 18-17
☎ 022-367-5940

6月21日(水) 令和5年度 定時総会開催 マリンゲート3階

総会は、佐藤光樹市長・長峯清文福祉子ども未来部長ご臨席のもと、本人出席28名、委任状142名(会員数275名)にて開催されました。残念ながら今年も、新型コロナウイルス感染症の完全収束とは至らず、出席者を制限しての開催となりました。会議は先に会員宛に送付された「令和5年度総会議案書」に従って松本議長のもと進行され、議事は全て全会一致で承認されました。なお、草野弘一氏の理事退任と新理事長峯清文氏の就任も承認されました。



役員・事務局・会員心をひとつにして新たな飛躍を!

理事長 引地 榮五 (月見小4班)

会員の皆様こんにちは。お陰様で6月21日新局長のもと「令和5年度定時総会」を無事終えることが出来ました。

さて令和4年度も様々な難題がありました。もともと少人数でセンターの運営を行ってありますが、業務係長の菅野君が退任したことにより業務の仕事を分担せざるを得ませんでした。特に女性職員の方々は残業に続く残業の中、センター運営に支障を来すことはできないと強い信念と責任感を持ち懸命に頑張ってくれました。

そのような状況の中、今度は菊田局長が体調を崩し、長期療養を余儀なくされた事により、11月に退職したのであります。局長不在という異常事態の中ではありましたが、10月に佐藤勝美さんに新局長に就任してもらいました。以前より局長の重責には行政を経験された方が望ましいと考えておりました。

新局長の佐藤勝美さんは市役所にて総務財務また多くの部署を経験され豊富な知識をもたれている方です。就任してまだ9ヶ月という短い期間ではありますが、遅れていた仕事を通常

に戻すべく、又職員からも良き相談相手となり順調に進んで居るように見受けられます。

今年10月より「インボイス制度」(適格請求書保存方式)が始まります。この制度が実施されますとセンターにどのような影響が出るかという事です。今後5年間は緩和措置が適用されますが、令和11年からは緩和措置がなくなり、増額に対し財政をどうするか検討する必要があります。この制度はシルバー人材センターには「そぐわない」と全国シルバー人材センターが反対をしましたが、認められませんでした。

全国のセンターが苦慮しておりますと共に、事務作業も煩雑化し職員に負担になる事が予想されます。「公益社団法人塩釜市シルバー人材センター」として塩釜市行政の一翼を担うべくより多くの高齢者の皆様に働くことを通して元気になって戴ける様、又新局長のもとセンターとしての基本を考え直す年にしたいと思っております。

さらに存在感の有るセンター造りに邁進したいと考えておりますので会員の皆様のご指導ご協力を今後もよろしくお願い申し上げます。



事務局長あいさつ

事務局長 佐藤 勝美

月見小4班

会員の皆さん、日頃からのシルバー人材センターの運営にご協力いただき感謝申し上げます。

昨年10月より、急に事務局長として仕事することになり、慣れない中で会員の皆さんや職員の方のご協力により、初の大仕事である令和4年度の決算と令和5年度総会を無事終了することができ、ひと安心したところです。

私自身も既にシルバーの年齢を過ぎ、本来ですと短期的に経理面や法令面でのお仕事をお手伝いするために週2日間を働いて好きな趣味である麻雀や川柳を楽しんでいたのですが、事務局長

になったために週5日間働くことになり、体力的にも精神的にも疲れ過ぎて、趣味もあまりできない状況になってしまいました。

趣味での目標が、麻雀では「ねんりんピック」出場、川柳では仙台で発刊されているタウン誌「シルバーネット」の川柳コーナーで特選に再度選ばれる(続ける)ことです。早く趣味の世界に戻りたいので、会員皆さんの協力もいただきながら、後継者である職員(事務所では一番の新参ものの私ですが)の育成と引継ぎに努力してまいります。

今後ともよろしくお願ひします。



新理事あいさつ

塩釜市福祉子ども未来部長

長 峯 清 文

この度塩釜市シルバー人材センター理事に就任いたしました、塩釜市福祉子ども未来部長の長峯清文と申します。

コロナの影響だけでなく、シルバー人材センターを取り巻く様々な課題がある中で、微力ではあ

りますが組織の発展とともに会員の皆様にやりがいをもって仕事に取り組んでいただけるよう尽力したいと思いますので、ご指導くださいますようよろしくお願ひいたします。

賛助会員の皆様 令和5年度もよろしくご支援の程 お願ひ申し上げます!

◇東日本自動車学校様
塩釜市月見ヶ丘6番7号

◇有限会社渋谷清掃様
塩釜市清水沢4丁目31番3号

◇有限会社宮城リサイクルセンター様
塩釜市港町一丁目7番1号

◇株式会社今野モーターズ様
塩釜市牛生町12番15号

◇遠藤株式会社様
塩釜市花立町16番12号

◇株式会社高山様
塩釜市尾島町10番18号

◇進々堂商光株式会社様
仙台市宮城野区白鳥二丁目2番18号

◇MGプロデュース様
(マリンゲート)
塩釜市港町一丁目4番1号

マリンゲート塩釜2F

事務局だより

○ 会員拡大にご理解・ご協力ください。

これまで会員数350名を目標に頑張ってきましたが、なかなか増えません。

せめて、300名突破を目指したいとおもいます。

会員の方々は、知人・友人・近所の方々に是非入会を働きかけてください。

○ シルバーカフェ 7月5日オープンしました。

長い間お休みしていたシルバーサロンが再開します。

♡・・・ほっと一息つきにいらっしやいませんか・・・♡

♪・・・楽しい時間を過ごしましょう・・・♪

場 所： 塩釜市シルバー人材センター2階

開催日時： 毎週水曜日 9：30～11：30 （当面の間はシルバー会員のみの利用）

協力金： 1セット¥250円（コーヒーor紅茶）お菓子付き

○ シルバーお助けゴーゴー隊会員募集

当センターでは、通常の請負業務や派遣事業のお仕事のほかに簡単な仕事をお手伝いする「シルバーお助けゴーゴー隊」事業に取り込むことしております。

詳細は先に配布したチラシ、または事務局にご相談ください。

○ 表具班会員募集中 **チャレンジしてみませんか？ 新しい仕事を！**

襖・障子・網戸の張替えをする仕事です。

- ・シルバー人材センターが講習会を開催します。
- ・先輩と一緒に現場で仕事を覚えていきます。



○ 植木剪定作業班会員募集中

剪定を試してみたい！

新しい技術を身につけたい！

自分の庭の手入れを自分でしたい！

この機会にぜひ一緒にお仕事しませんか？

経験者の方はもちろん、未経験者の方、大歓迎です。

先輩作業員と一緒に現場で少しずつ仕事を覚えていただきますので安心してできます。

ご相談、お問い合わせ先

公益社団法人 塩釜市シルバー人材センター

電話：022-367-5940



令和5年度公益社団法人シルバー人材センター 定時総会に出席されてのごあいさつ

塩釜市65歳以上の方々が34.6%

皆様方に生き甲斐をもって楽しくお仕事をさせていただくような、お仕事を . . .

塩釜市長 佐藤光樹

皆さんこんにちは。只今ご紹介いただきました塩釜市長の佐藤光樹と申します。

令和5年度公益社団法人塩釜市シルバー人材センターの総会に市長としては初めて出席いたしました。コロナという感染症が私どもの社会を大きく揺るがしており、まだ現在進行形だと認識しておりますが、そのような中であってこのように代表トップの皆様方にご出席ただいて開催されますことを、心からお喜びを申し上げます。

また、引地理事長はじめ役員の皆様方におかれましては、この厳しい状況の中で昭和57年の設立以来約40年シルバー人材センターの歴史があるわけでございますけれども、一番苦しい時期をこのように乗り切っていただいている今、なお、厳しい状態が続いておりますけれども、心から感謝を申し上げなければいけないというふうに思っております。私も市長に就任をさせていただいて、就任した直後に、台風19号の被害がございました。そののち年が明けて、コロナになって、そのあと地震が立て続けに起こり、大雨が降り、災害対応等々であったという間に4年間で過ぎてしまったというのが率直な感想でございます。そうした中であっても、コロナの時にウイルスバスター隊、そしてまた、コロナのワクチン接種等々、シルバー人材センターの皆様方には多くの市の事業に際しましてご尽力をいただきましたことを、併せて御礼を申し上げさせていただければというふうに思います。ただ、組織が長く続くと、

必ず組織的ないろいろな問題というものが起こります。

普通にみていけば、なかなか気づかないことでも、例えば私も市長になって4年が経ちますけれども、市長になって、市役所に行って外から見ていた市役所と、中に入って見させていただいた市役所は大きく違います。今なお葛藤中でございます。そうした中であってシルバー人材センターでも多くの苦難があったとの報告はしっかりと承っておりますし、また、佐藤勝美さんに事務局長になっていただいて、一生懸命組織の立て直しのために、ご尽力いただいております。

これから、私ども塩釜市でも、長峯さんが関係部署の部長になり、全力でシルバー人材センターの皆様方の事業に関しまして塩釜市をあげて応援をさせていただきますことをお約束いたします。今、塩釜市では65歳以上の方々が34.6パーセントとなっております。ということは3人に一人がもうすでに65歳以上の方々であり、こういった方々が、その後の生活をどのようにされるかということについては、私ども塩釜市にも多大なる責任があります。そういった中であって、今厳しい状況かもしれませんが、皆様方に生きがいをもって楽しくお仕事をさせていただくようなお仕事を私どもで作らせていただけないか、今までと違う発想で実は市政運営をしようとしている最中でございます。

簡単にいうと例えば、今まで施設等々でこの

マリゲートもそうなのですけれども塩竈市が4分の1の株をもっています。ということは4分の1の権限があります。

例えば1階のお土産店舗も空き店舗があります。当然人がいらっしやらなければお店を出店していただいても売り上げがあがりません。このままにしているのかどうかということのを逆に真剣に考える時期なのです。役所というのはそういうことをあまり考えていない。空いていたら空いていたままで何も工夫もしなかつたら人様方に入ってくださいわけにはまいりません。そういったところに、今回は子供たちの遊具を置かせていただき、お店が入りたいと思ったら、それをまた別な所へ移せばいい。そういう努力の積み重ねをすることで、このマリゲートも生まれ変わるようなきっかけになるのではないかと、または、公共施設のそういう無駄なスペースの精査をさせていただいているところです。そういうところに何か遊具をもってきたら、シルバー人材センターの皆様方にお仕事をして子供たちを見守っていただいたり、来る人も少しでも楽しんでお帰りいただけるようなお手伝いをさせていただいたり、また、教育のなかにあっても、地域の方々や、市民の

方々にご尽力をいただいて子どもたちに、皆様方のこれまで生かされてきたご経験をお話していただく、または、あやとりとかそういった昔ながらの遊びを教えていただく、地域全体で、お子様方をしっかりと育てていこうというような発想も真剣に考えて、それらを皆様方にお手伝いをいただく、そういう仕組みを根本的にやらせていただきたいというふうに考えています。

結果的には塩竈市にはあまり金がないといわれておりますので、まずは知恵を使って体を使って、皆様方のこれまでの御経験を大切に、私どもが理解をし、そして、そのことを社会に還元していただく、その仕組みをつくるのが行政の仕事だと思っています。そのために仕組み作りのあとの実践をしていくことをお約束させていただきます。これからも引地理事長様はじめ役員の皆様方にご指導いただきながら、私どもも長峰部長を中心に、精一杯責任をもって市政運営に当たらせていただきます。

最後に皆様方の益々のご多幸とご健勝をお祈りし、ごあいさつとさせていただきます。

どうぞ、今後ともご指導よろしく願います。

＝ よしこの塩竈 ＝

「よしこの」というのが、日本の独特のリズムから由来しています。よしこの塩竈というのは、「塩竈のよしこの節」という意味合を持っています。

平成元年に「よしこの塩竈」が誕生しました。塩竈の活性化を促すひとつの起爆剤として、何かを作ろうというのが始まりです。そこで塩竈の伝統民謡である塩竈甚句をモチーフにし、歌って踊れるリズムカルな楽曲(民謡)を制作することになりました。その際企画は市民有志の実行委員会が担当し、新しい楽曲のコンセプトは「温故知新」で、作曲はギタリストで作曲家の寺内タケシ氏に依頼しました。





陸奥国一宮『鹽竈神社』のあれこれ

塩竈市文化財保護審議会会長 高橋 守 克

私たち塩竈の誇りとする『鹽竈神社』について
この機会に少し紹介させていただきたいと思います。

1. 鹽竈神社の成り立ち

鹽竈神社の起源や創建の年代は、必ずしも明らかではありませんが、平安時代初期の820年(弘仁11年)完成とされる『弘仁式主税帳』に「祭鹽竈神料一万束」と記され、鹽竈神社は全国で唯一国府(陸奥国府多賀城)による破格の祭料を認められていたことが知られます。

927年(延長5年)にまとめられた『延喜式主税帳』においても、このような待遇は全国でも伊豆国三島神、出羽国月山大物忌神、淡路国大和国魂神の三神を数えるのみです。一方、国家の祭祀に関わる諸国の神社名をあげた『延喜式神名帳』(式内社)に鹽竈神は記載されていないことから、国府と密接にかかわる祭祀施設として特別な神であったと考えられています。

製塩に関わって本来塩竈の地に祀られていたのは地主神としての鹽竈神で、国府多賀城の造営(神龜元年:724)にともなって中央神である香取・鹿島の軍神と海上交通の神である塩土老翁神が蝦夷政策との関係で祀られたものと思われま。当時は天皇中心の政治圏に宮城県北部以北の地域は入っておりませんでした。その地域の人々は時の政権によって「蝦夷」と呼ばれ、彼らを天皇の政治圏に組み入れる政策がとられました。

鹽竈神社は製塩という国府主導の事業とも深く結びついて祀られ、鎮守府(軍事部門)を併置

した国府多賀城による東北経営の精神的支えとして、また多賀城への人員・物資輸送の重要な役割を有する国府津(こうづ)と海上交通の守り神として存在しました。鹽竈神社は在地に根付いていた人々に崇敬されるとともに、国府の厚い庇護のもとで陸奥国を治めるための神として祀られてきたといえます。したがって鹽竈神社の創建は、国府多賀城の創建からあまり遅れることはなく、奈良時代半ばにはすでに『陸奥国一宮』として重要な役割を果たしていたと考えられます。

そのため、都からの派遣される陸奥国司は着任をはじめ、重要な祭事には鹽竈神社を参拝したものと考えられます。国司の鹽竈神社への参拝は、鳥居原(現在の塩釜高校西キャンパス付近)から江尻を下って七曲坂を上る参道が用いられました。かつて江尻と七曲坂の間は、千尋淵と呼ばれた入江が入り込んでいて橋がなかったため、江尻から舟で渡っていたと考えられます。

平安時代の初めには蝦夷との戦争に勝利した政府は、胆沢城(奥州市)・志波城(盛岡市)を造営し、支配を岩手県南半分にまで範囲を広げ、多賀城から胆沢城に鎮守府を移しました。

2. その後の鹽竈神社

国府の長官が赴任せずに代理が派遣されるようになった平安時代の後半の11世紀以降は、



感謝

玉小3班 佐藤博信

シルバー人材センターに入会して5年の歳月が過ぎ、月日の早さを感じるこの頃です。麦茶などを飲みながらたわい無い話をして楽しく勤務しています。

70歳を越え人生を振り返ると「感謝」の言葉しかありません。

健康で充実した人生を送れていることは今まで仕事でお世話になった上司、先輩及び後輩のお陰とであること。また、生活したそれぞれの土地の住民の皆様に感謝しております。

言うまでもなく私を支えてくれた家族に感謝しています。生涯に於いて「感謝」こそ忘れてはならないと思っています。

昨今は、金魚、メダカ、カメの飼育、家庭菜園と孫の成長を楽しみながらコロナの感染予防のため休んでいた市民ランナーとして大会参加を目標に体力の維持に努めるとともに、会員として紹介していただいた仕事に生きがいを持って体力の続く限り「感謝」の心を忘れず一期一会を大切に頑張っていきたいと思ひます。

理事長表彰

令和4年度総会以降今年度総会までに入会5年を迎えた会員

(敬称省略)

氏名	所属地域班	氏名	所属地域班
佐藤 百合枝	塩三小4班	須貝 日男	塩二小1班
千賀 静子	塩二小2班	佐藤 清一	塩二小4班
遠藤 瑛子	杉小2班	藤本 政信	月見小5班
阿部 直	塩一小2班	畑口 和廣	杉小2班
高橋 淳一	塩二小3班	高橋 一夫	塩二小5班
須藤 俊夫	塩一小1班	京極 正四	月見小3班
佐藤 博信	玉小3班		



佐藤百合枝さん



千賀静子さん



高橋淳一さん



京極正四さん



須貝日男さん



永年会員表彰を受賞して思うこと

除草班 須藤 俊夫 (一小1班)

シルバー人材センターの除草班に所属して、6年目に入って、現在も仕事をさせて頂いております。

この度、永年会員の表彰をいただき、有難うございました。以前は今と全く違う広告のデザインの職についておりましたが、心機一転、体を使い健康の維持も兼ねて挑戦しようと、除草の仕事を震災の起きる3年位前から、ある水処理施設で作業を始めて、その後も東北大学構内でも続けていましたので、気軽に出来そうだなと思いながら、入所しました。でも所変われば作業面や交流など、難しい点もそれなりに有りました。そして、それぞれに人生を進めて来た方々の集まりですので、

個性を尊重しながら行動を共にするのが大切なことでした。

除草の仕事は、確かにきつい部分も多々ありますが、私には好きな作業です。荒れた土地が、作業後には綺麗になって、近隣の方々に「綺麗になったね。さすがだね。」などと褒められると、嬉しくなります。

どんな仕事でもそうでしょうけれど、いつもどうすれば上手に、早く、無駄なく綺麗にできるかを考えながら作業をしています。

「日々勉強！」な～んてね。そして、センターの方々にも色々とお世話になり、優しく接して頂いております。たまに意思疎通の食い違いなども有りますが、良く話し合っ、より良い仕事環境になるよう、頑張っていきたいと思っています。

天寿のうた(天寿とは、天から授かった寿命) =富士の高嶺に降る雪も～の歌の節で歌ってください=

- | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|------------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|---|
| 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 限りあるのが命です
ここまで生きた天寿王 | 百二十は天寿です。
まさに天から頂いた | 家族世間に支えられ
感謝感謝の毎日よ | 百十一は王寿です
まさに長寿の旗頭 | 百八歳は茶寿と言ひ
八十八から二十年 | 百薬の長お茶を飲み
友とお茶飲み話する | 百八歳は茶寿と言ひ
八十八から二十年 | 百八歳は茶寿と言ひ
八十八から二十年 | 百八歳は茶寿と言ひ
八十八から二十年 | 百八歳は茶寿と言ひ
八十八から二十年 | 百八歳は茶寿と言ひ
八十八から二十年 | 百八歳は茶寿と言ひ
八十八から二十年 | 百八歳は茶寿と言ひ
八十八から二十年 | 百八歳は茶寿と言ひ
八十八から二十年 | 六十歳は還暦で
生まれた年に戻ります
やっとこれからわが人生
楽しく笑い生きましよう
七十歳は古稀と言ひ
古来稀だと杜甫語る
さらに元気に越えてゆく
天寿の山もなんのその
七十七は喜寿と言ひ
生きる喜びかみしめて
さあさ丈夫で過ぎしましよ
病知らずが一番ね
八十歳は傘寿です
傘をさしての人生は
雨露雪を防ぎます
そのおかげ様達者です
八十四は橋寿です
人生の道橋もある
幸せの橋見つけましよ
渡りをつける良いお年
八十八は米寿です
八十八度の手がかかる
米はお国の宝物
われの命も宝物
九十歳は卒寿です
これで卒業するのじやない
あなたも私も人生の
初老卒業したばかり
九十二歳は国寿です
日本に生まれ幸せよ
まだまだ生きるこの国で
国に尽くした尽くされた
九十四歳櫛寿です
櫛は大事な髪の毛を
守ってくれる有難や
櫛も命も大切に
九十九歳は白寿です
さらに一年生きたなら
なんとすごいね百歳だ
体につけ暮らしましよ
ついに百歳白寿です
百寿の文字のとおりです
ついに到着百の門
でもまだ遠い天寿山 |

俳句 題「あやめ」

多賀城のあやめ祭りに妻とふたりで鑑賞に出かけました。
今を盛りと咲き乱れるあやめに感動してしまい、
拙い俳句を詠んでみました。

二小1班 小松幸雄

^{ぐんまい}郡舞の ^{あやめ}あやめと昇る ^{じょうど}浄土かな

肩にふれ ^{はな}華やぐ ^{きよそ}拳措や 妻あやめ

^よ佳き女の ^{みたま}御霊となり ^{あやめ}あやめかな

花あやめ 生きてこの世の ^{なごり}名残ども

解き放て ^{かせ}思いの枷を 花あやめ

よみがえる 古代むらさき 花あやめ

花あやめ ^{りょうらん}繚乱のうねり ^{さら}身を晒し

あやめ園 わが身漂う 波間かな

身をよせて ^{まど}はなれて惑う あやめかな

^{あらい}争いの ^{うっせみ}絶えなき現世 ^めあやめ愛で

川柳

月見小4班 佐藤勝美

「難しい」

国連よ プーチン止める 役目せよ
コロナとの 別れの予感 感じたい
卒寿まで 生きて年金 元を取れ

「初」

密を避け ひなびた神社に 初詣
初物を 食べて笑って 長生きだ
お喰い初め ごちそう全部 祖母が食べ
プロ入りで 誰もが夢の 初登板

「中心」

孫生まれ 家族写真の 位置変わる
合コンは 美人の周りが 中心に
クラス会 中心変える 化粧映え
コロナ禍で 今が主役だ オミクロン
山形の 名産米だ ど真ん中

「無題」

目と鼻で 春の予感を まず感じ
言わずとも 一合増える 年金日
赤い糸 結び直せず 離婚危機
誕生日 お祝いされぬ 歳となり
フロントが 二度見している 若妻かい？



妻との旅行

玉小1班 水沼淳二

妻と結婚して55年が経ちました。ごくごく平凡な、どちらかと言うと仲の良い部類に入る夫婦だろうと自負しています。その妻がいつの頃からか旅行好きになり振り返

ると10本の指では足りない程の海外旅行、加えて国内の名所旧跡や観光地巡りを行って来ました。私が海外に同行したのはインドネシアのバリ島とスイスの山岳トレッキングツアーのみ、あとの10数カ国は以前働いていた会社の同僚との仲良しコンビの道中でした。

海外旅行の多くは成田空港発着でしたが、成田まで夜行バスを使いフライトまでの10時間以上の間があっても、なんら苦にせずその時間を有効に使っていたようです。

その妻が「最後にぜひ行きた所、沖縄の石垣島と周辺の島八重山列島巡りです。一緒に行きたい」と私に懇願してきました。数年前仲良しコンビで北海道の利尻島、礼文島まで足を延ばし、残るは沖縄の石垣島と心に決めていたようです。石垣島については、本友の会総務の畠山さんの影響もありました。畠山さんが現役時代2年間の勤務生活を送った所です。白砂青松の地で青い海に白い雲が浮かぶ、まさに汚れのない景勝地であることを機会あるごとに聞かされていました。その願いが実現しかかったのが令和2年。ある旅行会社の企画で3月15日の出発でした。旅行代金も納めいざ出発と言う時、あの忌まわしい新型コロナウイルスの感染拡大の影響で旅行そのものが中止されました。妻の気持ちがいかばかりか私に

も分かる気がしました。

そして3年後、6月の中旬に念願を叶えたのです。喜寿を過ぎ体力も気力も衰え加減の妻が、一人での参加に不安を感じたのでしょう。私も重い腰を上げて同行しました。天候には必ずしも恵まれた状態ではありませんでしたが、北海道や山形県からの参加者との交流は旅を明るいものにし、妻は待ち望んだ観光や風景に満足を示しました。亜熱帯の自然がそのまま観光になるという八重山地方。西表島のマングローブ群生を舟で見てその範囲の大きさに驚き、更にそのものが植物園という由布島へ水牛車で渡ります。御者が三線を奏でて歌うご当地の民謡、安里屋ユンタにはどこか哀調が感じられ牛歩がリズムを作っているかの如きです。

人口300人程の竹富島は沖縄の原風景が残っているとわれ、ここでも水牛車で街を巡りました。石垣島の透明度抜群の海の底をグラスボードで探索、サンゴ礁群を亀が泳ぎ色鮮やかな魚類を発見して歓声をあげました。

妻はこの旅行を最後と位置付けて参加しました。華美な観光地を嫌い、自然が織りなす風景に魅せられた旅に一応終止符を打ったようです。

私たちには添える間が短くなって来ています。最後の本当に最後の旅行を迎える年齢になりました。旅行会社に予約を入れる訳にはいきません。妻と一緒にということもできません。しかも帰途のない旅行です。それが何時なのか神のみぞ知る、・・出来る限りの長い月日を一緒に生活したいと念じています。



マングローブ群生



82歳の同級会:存命率67%

畠山孝繁(玉小1班)

去る6月25日、82歳の同級会に参加しました。参加者は25名。丸々3年ぶりに級友と再会し喜びを分かち合いました。振り返れば、私たちは終戦から間もない昭和23年4月に小学校に入学。121名。私たちが生まれた昭和16年は日本軍がハワイへ真珠湾攻撃し第二次世界大戦が勃発した年です。当時の記憶は定かではありませんが、私の兄3人は徴兵されました。幸い無事帰還出来ました。近所には沢山の戦死者がおります。長兄は焼夷弾で目を負傷し仙台陸軍病院に入院した経歴を持ちます。兄の目は完治せず死ぬまで苦労したようです。

昭和23年と言えば食べ物も着る物も履くものもなく誰もかれもが苦労した時代でした。ピカピカの小学一年生とはいってもランドセルは兄が戦地から持ち帰った皮で造ってくれたもの。学生帽は買ってもらった記憶がありますが、ランドセルの中には近所の上級生から譲られた古い教科書です。お金持ちでなければ買えないので、隣の席の友達の新しい教科書がとてもうらやましく思いました。ノートや鉛筆もろくなものはありません。石板(せきばん)と専用チョーク。今は小学一年生からタブレットなるものを使用しているようですが、私たちは石板にチョークで書いては消し、書いては消して字を覚えしました。鉛筆は削るとすぐに折れる粗悪品。ノートや紙は現代のような白紙ではなく、紙質も悪くザラザラしていたからでしょうかザラ紙と呼ばれ、私の記憶ではB3判1枚50銭です。現代はA3判1枚1円50銭ぐらいでしたが今の方が安い感じ。紙は本当に貴重な物でした。ですから書道の練習は新聞紙を使い、書いた墨が乾いたらその上にまた書くといった状態で最後の1枚清書するときだけ習字紙

を使います。

履き物とはいえば、わら草履です。雨のときは素足で家を出て学校に着いたら足洗い場で足を洗い、濡れた足でヒタヒタ歩いていました。登校するときはわら草履を履いて出たけど下校時に雨が降ったときは、その草履を懐に入れて2キロほどの砂利道を素足で帰っていました。わら草履を懐に入れても木下藤吉郎のように出世できませんでした。それにしても砂利道をよく素足で歩いたもんだなあと思っています。

長靴はありません。貧富の差もありましたが、物そのものがなかったのです。当時は配給制度があり長靴もクラスに5足程度配給され、それを希望者でくじ引きをしたりじゃんけんしたりして決めていました。服などもくじ引きでしたので、なかなか手にはいきませんでした。食べ物もなかった。ですから食べられるものは何でも食べました。あけび・栗・山ブドウ・野いちご・青梅・すもも・すぐり・ちやごみ・柿・生のサツマイモ。田んぼの畦道に生えていた「スカンポ」は酸っぱいけどとってもおいしい食べ物でした。

米も不足していたので麦飯に海藻類、大豆、かぼちゃ・小豆・大根葉・芋類等々をかて(糧)と称して混ぜて炊いていました。干した大根の葉っぱのかて(糧)ご飯だけはその匂いがきつく食べるのに一苦労しました。

艱難辛苦、人生いろいろあり中学卒業時は121名。転出生あり9年間で教室を共に学んだ同級生は127名。死亡が確認された同級生は42名となっていますので、生存率67%です。

この歳にして同級会に参加でき、シルバー人材センター会員として健康で働けることは、この上ない幸せを実感しています。

シルバーカフェをリニューアルオープンしました！ 皆さん来てね！

新型コロナウイルス感染症禍により丸3年間お休みしておりましたが、ようやく収束の兆しが見えてきたことから、意欲あふれる8名のスタッフにより、去る7月5日に再開しました。開店早々から沢山のお客さんが詰めかけ、上々のスタートでした。出かけた際に立ち寄り、ホット一息ついてはいかがでしょうか！

営業日 毎週水曜日午前9時30分～午前11時30分

(令和6年1月3日はおやすみします。)



スタッフ

阿部 シヅ子 さん (杉小3班)
 早坂 良子 さん (三小1班)
 佐藤 百合枝 さん (三小4班)
 深瀬 こと さん (玉小1班)
 伊藤 昭子 さん (一小3班)
 万城目 一美 さん (二小3班)
 原田 益子 さん (月見小1班)
 佐藤 秋子 さん (三小4班)

重ね重ねの募集 「シルバーお助けゴーゴー隊」

【シルバーお助けゴーゴー隊出動条件】

- ・作業場所 塩釜市内
- ・ワンコイン500円 概ね1作業30分以内
- ・高所での作業や危険な作業でないこと
- ・シルバー会員が近所にいること
- ・基本的にひとりで出来る作業
複数人数で行った場合 人数×500円
- ・材料費はお客様負担

【ご利用の流れ】

- ・電話でお手伝いの内容を依頼する
- ・ご依頼されたお手伝いに適した会員を探す
- ・お手伝いする会員からご依頼者に電話する (依頼内容の確認や日時等)
- ・お手伝い完了後、500円を会員に渡す (領収書を渡す) (できる限りお釣りがないようご用意)

【お手伝い内容】

- ・可燃物のゴミ出し
- ・花木の水やり
- ・電球の交換
- ・簡単な裁縫
- ・家具等の移動
- ・洗濯、布団干し
- ・精米 等々

【ご利用期間】:月曜～金曜(午前8時30分)～午後5時まで 【問合せ】:塩釜市シルバー人材センター



シルバー友の会だより

感染予防対策を充分にして秋の旅行会を！！

友の会会長 小松 幸雄 (二小1班)

梅雨も明け、暑い毎日が続いておりますが、塩釜市シルバー人材センター友の会会員の皆様におかれましてはご健勝のこととご推察申し上げます。平素より会員の皆様には、友の会の事業計画にご理解ご協力を頂きまして厚く御礼申し上げます。

6月21日(水)にマリゲート塩釜3階のマリンホールで行われた令和5年度友の会の定時総会も、出席者の皆様のご理解の下、スムーズに審議承認されましたこと、重ねて御礼申し上げます。今年度の事業計画案に提示されましたそれぞれの事案につきましては、私ども友の会の役員で協議を重ね、出来るだけ多くの方が参加できるよう、企画・立案しながら取り組んでいきたいと思っておりますので、宜しくご参加ご協力のほどお願い申し上げます。また7月17日(月)海の日の第76回塩竈みなと祭り陸上パレード「よしこの塩竈踊り」の催行に際しましては、延べ5回に及ぶ練習日にも沢山の方が参加して下さり、本番当日は厳しい暑さの中裏方を含め総勢25名の方の参加を戴き、惜しくも今年も賞はとれませんでした。塩竈市民の皆さんに高齢者の元気で澁刺とした踊りを見せることが出来たことは、賞にも勝る素晴らしいことだと思っております。

今年度の塩釜市シルバー人材センターの定時総会には、塩竈市長が初めて来賓として出席して下さい、その祝辞の挨拶で、現在塩竈市民の65歳以上の方の人口割合は34.6%に及んでいると言われました。このような多くの高齢者がシルバー人材センター等で生き甲斐をもって元気に仕事をし、楽しく暮らせる地域社会を発展させてゆく事も市の行政の一環であると言われました。

現在宮城県内のシルバー人材センターで、「友の会」があるのは仙台市と塩竈市だけであると聞いております。「共働・共助」の理念のシルバー人材センターですが、仕事をするだけではなく「友の会」の会員同士の情報交換やサークル活動などで親睦を図ることも、高齢者の楽しみや健康の為の大切な要素と思われ、多少なりとも心身のフレイル(虚弱状態)予防と健康寿命の延長になるのではと、友の会の役員一同の共通認識として活動を続けているところであります。

新型コロナウイルス感染症も、インフルエンザと同じ「五類」に引き下げられ、マスク着用あるいはマスクなしで、様々なイベントが行われるようになりました。友の会として今年度こそは、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底した上で、3年ぶりに秋の一泊旅行を催行するべく、時期や旅行先等を検討中でございます。旅行に関しまして会員の皆様からご要望等がありましたらシルバー人材センター事務局までご連絡ください。また「日帰り旅行」なども同様に考えております。

塩竈市長も祝辞の挨拶の中で「新型コロナウイルス感染症は終息したわけではなく、まだまだ油断ならない」と言っておりました。ウイルスの変異株もBA2からXBBに変異され、感染者数は全国的に下げ止まりとなっているようです。しかし地域によっては感染者数が増加傾向にあるとも言われております。友の会会員の皆様におかれましては、油断することなくマスクの着用や手の消毒などを徹底して感染防止に留意してください。また「安全は全てに優先する」スローガンを忘れることなく就業中の事故防止対策を万全にしてください。

第76回 塩釜みなと祭陸上パレード「よしこの鹽竈おどい」

私たち塩釜市シルバー人材センターは、60歳以上の元気な会員が若者にも負けないシルバーパワーを発揮し、仕事に趣味にといろいろな分野で日夜活動しております。

普段、おじいちゃんやおばあちゃんと呼ばれていても、今日は粋な法被姿で20歳以上も若返って元気に踊っております。見学している皆さんで60歳以上の方がいたら、来年はシルバーセンターの仲間となり、粋な法被を着て一緒に踊りましょう。

シルバーパワーいやゴールドパワーあふれる熟年男女に盛大な応援をお願いします。(参加団体紹介放送より)





写真撮影：鎌田辰夫(三小2班)

公益社団法人
塩釜市シルバー人材センター
 塩釜シルバー友の会

参加人数こそ昨年を下回りましたが、総勢25名炎天下の中皆元気で踊りきりました。霧吹き役村山滋さん(三小4班)、カメラマン鎌田辰夫さん(三小2班)、荷物番内海則夫さん(三小2班)、事務所留守役阿部シツ子さん(杉小3班)各裏方さんたちの献身的な働きがあり、踊り手さんは熱暑を吹き飛ばし躍動した踊りは素晴らしかった!